

令和5年度公害苦情処理状況調査結果について

経緯

- 公害苦情処理状況調査は、公害紛争処理法第49条の2の規定に基づき、県内における公害苦情の発生及び処理状況を把握するため、昭和44年度から実施している。
- 調査対象は各市町村、各林務環境事務所、各保健福祉事務所、各家畜保健衛生所の公害苦情相談窓口寄せられた公害苦情の内容とその処理状況。

内容

- 令和5年度に、県及び市町村で受理した公害苦情受付件数は、891件であり、前年度833件に比べて58件増加した。
- このうち、典型7公害に関する苦情が403件（45.2%）で、前年度に比べて14件減少した。
- 公害の種類別に見ると、悪臭に関する苦情が126件と最も多く、次いで騒音・大気汚染に関する苦情が104件・91件であった。

悪臭	騒音	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	振動	地盤沈下
126件	104件	91件	78件	2件	2件	0件

- このほか、典型7公害以外に関する苦情が488件（54.8%）で、前年度に比べ72件増加した。（表1、図1）
- なお、典型7公害以外に関する苦情488件のうち、132件が廃棄物投棄に関する苦情であった。

- 発生源別にみると、主なものは次のとおりであった。（表2、図2）

発生源	自然系	家庭生活	焼却（野焼き）	投棄された廃棄物
件数	304件	113件	106件	75件
割合	34.1%	12.7%	11.9%	8.4%

内容

- 被害の種類別にみると、感覚的・心理的被害（うるさい、臭い、不快感）が673件であり、全体の75.5%を占めていた。（表3、図3）

被害の種類	件数	割合
感覚的・心理的被害	673件	75.5%
健康被害（騒音による寝不足等）	76件	8.5%
財産被害（家屋、生活用品等の破損、汚れ等）	15件	1.7%
その他（農作物、養殖魚、ペット等の被害、損害等環境悪化の懸念等）	127件	14.3%

- 苦情の処理状況については、全苦情件数907件（前年度からの繰越分16件含む）のうち、年度内に直接処理したものが827件（91.2%）、警察・国等へ移送したものが33件（3.6%）、翌年度へ繰り越しているものが9件（1.0%）、原因が不明で直接処理が不可能であったものが38件（4.2%）であった。（表4）

連絡先

大気水質保全課 保全対策担当 TEL055-223-1508（内線6405）

表1 公害苦情件数の推移

公害苦情件数の推移

(単位：件)

種別 年度	典 型 7 公 害								典型7 公害 以外	合計
	大気 汚染	水質 汚濁	土壌 汚染	騒音	振動	地盤 沈下	悪臭	小計		
21	249	108	4	57	6	0	120	544	302	846
22	205	92	3	92	3	0	142	537	342	879
23	162	105	2	75	1	0	133	478	405	883
24	165	103	4	81	2	0	124	479	276	755
25	183	122	7	74	10	1	103	500	280	780
26	133	117	2	75	2	0	86	415	274	689
27	171	96	0	99	9	0	97	472	353	825
28	204	91	2	110	3	0	100	510	349	859
29	140	77	3	94	1	0	70	385	294	679
30	135	80	0	98	4	0	98	415	313	728
R01	108	71	1	72	3	0	91	346	383	729
R02	118	53	1	93	6	0	139	410	506	916
R03	130	62	2	102	3	0	120	419	482	901
R04	100	57	0	129	3	0	128	417	416	833
R05	91	78	2	104	2	0	126	403	488	891
対前年度増減	-9	21	2	-25	-1	0	-2	-14	72	58
対前年度比	0.91	1.37	-	0.81	0.67	-	0.98	0.97	1.17	1.07

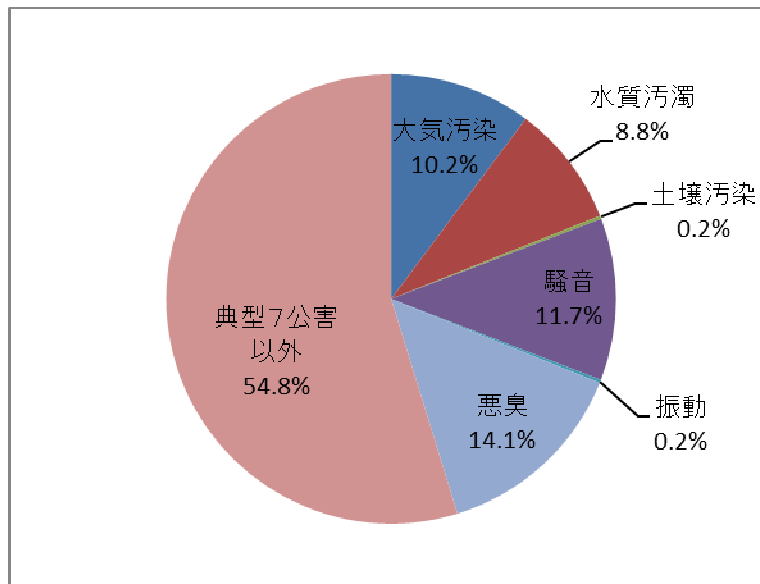


図1 種類別公害苦情割合

表2 発生源別公害苦情件数

令和5年度発生源別公害苦情件数

(単位：件)

発生源 種類	焼却 (施設)	産業用 機械作動	産業 排水	流出・ 漏洩	工事・ 建設作 業	飲食店 営業	移動 発生源 (自動車 等)	投棄さ れた廃 棄物	家庭 生活	焼却 (野焼 き)	自然系	その他	不明	計
大気汚染	4	2	0	0	14	0	0	0	1	65	0	3	2	91
水質汚濁	0	0	17	31	1	1	0	0	2	0	3	2	21	78
土壌汚染	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
騒音 振動	0	6	0	0	36	9	5	0	20	0	0	25	3	104
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	7	1	5	12	3	2	0	4	25	40	1	16	10	126
典型7公害以外	0	2	0	3	4	0	0	71	65	1	300	41	1	488
計	11	11	22	47	60	12	6	75	113	106	304	87	37	891

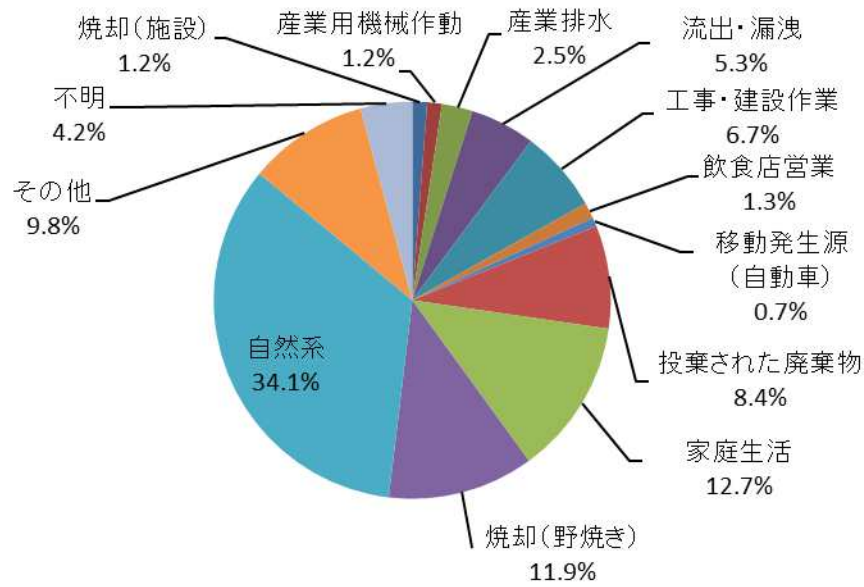


図2 発生源別公害苦情割合

表3 被害の種類別公害苦情件数

(単位:件)

種類	健康	財産	感覚的・心理的	その他	合計
大気汚染	11	6	62	12	91
水質汚濁	8	0	61	9	78
土壌汚染	2	0	0	0	2
騒音	20	0	83	1	104
振動	0	1	1	0	2
地盤沈下	0	0	0	0	0
悪臭	31	1	93	1	126
典型7公害以外	4	7	373	104	488
計	76	15	673	127	891

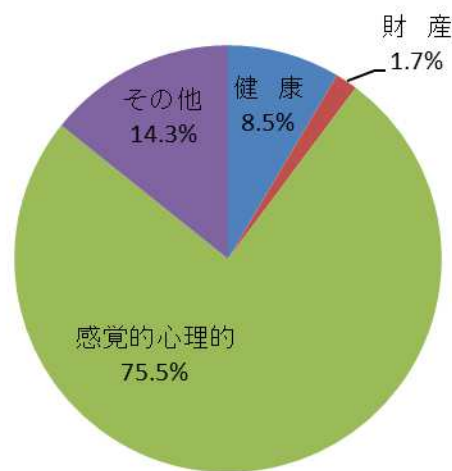


図3 被害の種類別公害苦情割合

表4 公害苦情処理状況別件数

(単位:件)

種類	処理状況	直接処理	警察・国等へ	翌年度へ	その他	計
大気汚染		89	3			92
水質汚濁		67	8	4	1	80
土壌汚染		1	2			3
騒音		97	4	4	5	110
振動		2				2
地盤沈下						0
悪臭		122	3	1	3	129
7公害以外		449	13		29	491
計		827	33	9	38	907